福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	女性活躍推進事業							事業コード	030101202502		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち				政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立				
	施策名	1 男女共同参画の推進						施策コード	721		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室				所属長	林 慶也				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	95	頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	第4次男女共同参画計画計画はばたきプラン2021	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、福知山市男女共同参画推進条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	男女共同参画推進事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・世界経済フォーラムが発表した、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数において、日本の総合スコアは146か国中118位であり、特に「政治」と「経済」の値が低い状況にある。 ・現在の日本国内では、女性社員が力を発揮しにくい状況にあり、その要因として、出産、子育て、介護など問題が多々あげられている。 ・本市の企業や事業所において、近年慢性的に働き手が不足している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・固定的性別役割分担意識の解消 ・就労の分野における女性の参画 ・仕事と生活の調和
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・男女共同参画を推進し、意欲ある人が働き続けられる環境整備の1つとして、女性がライフステージに関わらず就労を継続でき、キャリアアップをめざすことができる職場環境づくりのため、労働者と雇用者双方に対して意識改革が進むための研修等を実施し、市内企業における女性活躍推進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ◎本市の働く女性及び事業所・企業の実態を踏まえたうえで、女性社員の活躍支援や管理職候補者を育成するための「メンター制度」を導入する。 ・令和7年度実施：①市内事業所への訪問・面談の実施、②女性活躍推進及びメンター制度の理解促進に関する講演会とセミナーの開催（計5回：事業所・管理職・働く女性を対象） ・令和8年度以降実施：①②に加え、③メンター育成講座の開催と福知山メンターの認定、④社外メンター派遣モデル実施、⑤福知山市メンターネットワーク構築に関わる計画立案、⑥地域社会に対する啓発セミナーの開催

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社ICB					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	96	セミナー用事務用品（名札、附箋、マジック）、講師用飲料水、セミナー演題・啓発チラシ・報告冊子印刷費			
役務費	14	郵送料、切手購入			
委託料	1,650	メンター制度導入準備業務委託			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	1,760	6,476	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	0	1,760	6,476	
予算財源内訳	① 一般財源	0	880	3,276	
	② 国支出金	0	880	2,500	
	③ 府支出金	0	0	700	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	0	1,760		
	③ 執行額	0	1,760		
	④ 執行率		100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	0.70 / 0.01	/	/
	② 概算人件費	0	5,628		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	7,388		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	女性活躍推進事業（地域女性活躍推進交付金）	民生費国庫補助金	880	15	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	―	―	―	8		
	メンター育成講座受講修了者（福知山メンター認定者）数 ※令和8年度から実施のため、令和7年度はメンター育成講座受講候補者数とする（年間5回の研修等に全出席の人数）。	目標値		―	―	―	7	10	
		達成度	%	―	―	―	114%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	―	―	―	―		
	「福知山版メンター制度」の導入事業所等の数	当初見込		―	―	―	―	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	制度の導入の効果を図るために、以下の取組を行う。①導入事業所に、事業主、メンティへの聞き取りやアンケートを実施する。②「メンター認定者」を中心に意見交換会や学習会を開催。また、メンターとしてのスキルアップ講座を開催する。③メンターへの聞き取りやメンタリングの内容などから、現状における女性社員の困り感や悩みを把握し、その解消に向けた施策を検討、また事業所等への情報共有につなげる。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○今年度、実態把握は実施できたが事業参画につながらなかった事業所も含め、今後のセミナー等への参加や社内からメンター候補生を推薦できるような事業所の発掘を継続することが必要である。特に、訪問30社のうち一部は見送り・検討中にとどまっており、継続的なアプローチが求められる。 ○福知山メンターとして認定するための要件や、認定後の活動内容等の制度設計を令和8年度中に確立する必要がある。また、令和10年度に本格導入するメンター制度において、企業内メンター育成型と派遣型メンター制度の2案のどちらを軸にして進めるかを整理する必要がある。 ○現状では、商工会議所・商工会等の経済団体を通じた周知が中心であり、商業施設・飲食店・医療・福祉分野等、多様な業種の女性勤務者へのリーチが不十分である。SNSや広報ふくちやまを活用した情報発信の強化が必要である。
現状の課題に対する改善策	○令和8年度も引き続き市内事業所への訪問・面談を実施し（R7実績30社をさらに拡大）、未参加事業所へのアプローチを継続する。また、ネットワーキングフォーラムでの成果報告や成果報告冊子を通じて、参加事業所の具体的な変化・効果を可視化し、未参加事業所の参加意欲を高める。 ○福知山商工会議所・福知山市商工会・長田野工業センター・アネックス三和連携室等の関係団体と連携し、幅広い業種・規模の事業所への周知を強化する。また、チラシの配布先を商業施設・飲食店・医療・福祉分野等に拡大し、多様な業種の女性勤務者へのリーチを強化する。併せて、広報ふくちやまへの定期掲載とSNS（Instagram・X等）を活用した情報発信を強化し、若い世代を中心とした幅広い世代・業種へのリーチを強化する。 ○令和8年度中に「福知山メンター認定要綱」等の制度設計を確立し、認定基準・認定後の活動内容を明確化する。 ○企業内メンター育成型・派遣型メンター制度の2案について、令和8年度のモデル実証（2社）の結果を踏まえて令和9年度以降の方向性を決定する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	男女共同参画推進事業							事業コード	030101730302		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち				政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立				
	施策名	1 男女共同参画の推進						施策コード	721		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室				所属長	林 慶也				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	104・105	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	第4次男女共同参画計画はばたきプラン2021、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画（第3次）		R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、福知山市男女共同参画推進条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	男女共同参画保護救済事業・性の多様性事業・女性活躍推進事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 2025年に世界経済フォーラムが発表した各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数において日本は148か国中118位と先進国の中では最下位という結果であった。 「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分担が未だに家庭や地域社会に根深く残っていることが要因の一つと考えられる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ジェンダーギャップ指数の結果では「教育」「健康」の分野ではトップクラスであるが、「政治」と「経済」分野で男女格差が大きく、政策・方針決定の場への女性の参画が低いことが課題である。また家事・育児・介護の負担が女性に偏っていることから、固定的な性別役割分担意識の解消が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 男女共同参画社会の実現をめざして、福知山市男女共同参画推進条例に基づき策定した「第４次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2021」の趣旨を広く市民に啓発し、同計画に基づく施策を推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・男女共同参画推進会議・審議会・幹事会（男女共同参画に関する情報収集と施策展開に関する調査研究）の開催 ・「第４次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2021後期計画」を策定し、広く市民に啓発し同計画に基づく施策を推進する。 ・各セミナーの開催（市民・企業・女性・人事、管理職・女性メンターの発掘や育成） ・デートDV防止ワークショップの実施

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	舞台照明CREW・SOLOOK					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	192	福知山市男女共同参画審議会委員報酬費			
報償費	728	講師謝礼、手話通訳・要約筆記・保育サポーター謝礼			
需用費	193	講座チラシ、啓発用リーフレット等、講演会用懸垂幕、消耗品			
役務費	66	郵送費、廃棄処分料			
委託料	108	福知山城啓発パープルライトアップ			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,770	1,106	1,442	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,770	1,106	1,442	
予算財源内訳	① 一般財源	1,271	603	852	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	499	503	590	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	24	182		
	② 配当予算	1,794	1,288		
	③ 執行額	1,545	1,287		
	④ 執行率	86.1%	99.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.11 / 0.00	0.88 / 0.45	/	/
	② 概算人件費	16,880	8,300		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		18,425	9,587		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	人権問題啓発事業補助金	民生費府補助金	528	22	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1,116	1,054	1,475	1,291		
	セミナー、講座への参加者数	目標値		1,200	1,200	1,200	1,400	1,500	
		達成度	%	93%	88%	123%	92%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	12	13	16	17		
	講座等開催回数	当初見込		16	15	15	17	20	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	啓発したい内容や年代層に応じて講座の内容や開催場所・時間を検討し、より効果的な広報を行う。市民の方が参加しやすいように、講師と相談したりアンケート結果を基にしたりして講座の開催日時や時間帯を決定する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	30.6	27.2	30.7	31.2		
	審議会、委員会等の女性委員割合	目標値		30.0	30.0	32.0	33.0	35.0	
		達成度	%	102%	91%	96%	95%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	団体	13	14	13	13		
	はばたきネットワーク参画団体数	当初見込		10	10	13	13	13	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民への啓発活動を行うため、以下のとおり実施する。 ・セミナーや講演会を開催し、市民への啓発を行う。 ・各学校デートDVワークショップを行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・広報は従来の広報ふくちやまへの掲載やチラシ配布をはじめ、SNSを活用し幅広い層への情報発信を行った。 ・セミナーについては、開催日時を平日、土日など様々な曜日に設定し、開催内容に合ったターゲット層が参加しやすいように工夫したが、どのセミナーの参加者の年代層を見ても、高齢者の割合が高い結果となった。そのためこちらが想定するターゲット層が参加しやすいよう、より開催内容や広報の工夫が必要である。
現状の課題に対する改善策	・セミナーについては、開催曜日や開催時間の工夫するだけでなく、関連団体と共催するよう努める。 ・セミナーのチラシ等の配布先は、商業施設、遊興施設、飲食店など、市民が多く利用する場所に置いてもらえるよう開拓する。 ・今後も誰もが性別に関わらずに活躍できる社会をめざし、組織への働きかけや市民への啓発・学習会を進めていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	男女共同参画保護救済事業						事業コード	030101730303		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち			政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立				
	施策名	1 男女共同参画の推進					施策コード	721		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室			所属長	林 慶也				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	105 頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	第4次男女共同参画計画はばたきプラン2021、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画（第3次）	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、福知山市男女共同参画推進条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	男女共同参画推進事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ジェンダー不平等（女性の権利の制限、性別に基づく固定観念）や、ジェンダーに基づく暴力（DVや性暴力）の他、家庭不和、人間関係、生き方など、個人が抱える問題が複雑化、多様化、複合化している。数多くの女性は非正規で働き低賃金のため、経済的に自立していない現状があり、DV等の被害にあっても配偶者等DV加害者から避難することができない状況がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 潜在的な被害者に対し、相談窓口の開催場所の周知や認知度が上がるような広報手段を改善。また、相談体制の強化と、相談員のスキルの向上、また相談者が利用しやすい相談手段の見直しが必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） DVや性暴力などの女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、被害者の保護・救済と暴力の防止に向けて積極的な予防啓発を推進する。併せて、相談体制の充実や関係機関との連携強化を図り、迅速かつ適切な支援を実施する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・一般相談として市民を対象に、女性相談支援員、職員による相談対応 ・専門相談として市民を対象に、女性相談（年間22回）、女性の弁護士による女性法律相談（年間8回）、性別にこだわらない相談（年間6回）、男性相談（年間4回）の実施 ・DV被害者支援(緊急一時保護に係る宿泊支援、食費支援、住民基本台帳事務における支援措置) ・庁内外の関係部署や関係機関との月1回の定例連携会議の実施 ・京都府主催の相談員研修に参加し、相談員のスキルアップを行う

対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都弁護士会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	384	女性相談フェミニストカウンセラー・男性相談臨床心理士謝礼			
旅費	149	女性相談フェミニストカウンセラー・男性相談臨床心理士に対する旅費費用弁償等			
需用費	20	相談日程周知ちらし用色上質紙等			
役務費	37	閲覧制限に係る郵送料、男女共同参画センター電話代			
委託料	668	女性の弁護士による女性法律相談に係る業務委託			
使用料及び賃借料	14	女性相談支援等研修の公用車使用にかかる高速道路通行料・駐車料金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,386	1,351	1,443	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,386	1,351	1,443	
予算財源内訳	① 一般財源	1,386	1,017	1,423	
	② 国支出金	0	334	20	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 39	△ 53		
	② 配当予算	1,347	1,298		
	③ 執行額	1,287	1,272		
	④ 執行率	95.5%	98.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.09 / 0.00	0.53 / 0.55	/	/
	② 概算人件費	8,720	5,780		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		10,007	7,052		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	きょうと地域連携交付金	民生費府補助金	439	23	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	―	―	100		
	相談者の利用満足度	目標値		―	―	―	75	85	
		達成度	%	―	―	―	133%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	59	64	59	57		
	専門相談の相談者実人数	当初見込		55	55	53	55	55	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・専門相談の実施（女性相談・女性の弁護士による女性法律相談・男性相談・性別にこだわらない相談） ・一般相談として女性相談支援員や職員対応の相談について、従来の対面、電話相談以外に、メールやSNSを利用した相談方法を追加する等相談体制の強化について検討								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	―	―	97		
	相談者の満足度	目標値		―	―	―	90	90	
		達成度	%	―	―	―	108%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	―	―	97		
	相談者の満足度	当初見込		―	―	―	90	90	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	相談者に対してアンケーを実施								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・専門相談の予約について対面または電話での予約のみだったものを、利用のハードルを下げるためWEB上でも相談の空きを確認し、予約ができる予約フォームを作成し、R7年1月より運用を開始した。 ・女性相談支援員を1名配属し、困難な問題を抱える女性からの相談に対し、一人ひとりのニーズに応じて、寄り添った支援を行うことができた。 ・包括的かつ切れ目ない支援体制という面で、人権推進室で相談受付後、支援先の関係機関につなげることができた。
現状の課題に対する改善策	・相談者に寄り添い、信頼と安心感が持てる対応ができる、悩みや問題の解決につながる適切な支援の連携が行える等の相談スキルが必要。そのため相談スキルの向上につながる研修の機会の確保が必要である。 ・日ごろから関係機関と情報共有をする行うなど連携を図り、適切な支援に繋げ、支援後についても支援内容について担当課と情報共有を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	婦人教育事業						事業コード	100501630235		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち			政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立				
	施 策 名	1 男女共同参画の推進					施策コード	721		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	207 頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人権推進に係る研修会や学習会に積極的に参加し、学びを共有する事で人権尊重を基盤とした男女共同参画社会実現を図る。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 婦人会活動を地域活性化の礎とし、研修等を通じて女性の生涯学習活動の充実を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 人権尊重を基盤にして、男女共同参画社会の実現に向けて、学習・実践を進める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市連合婦人会を通じた研修（生涯学習講座）支援 ・母の日大会開催、ブロック別リーダー研修会、生涯学習講座、京都女性の健康フェスティバル参加、各種京都府連行事、研修会等参加

対象者	婦人会会員	対象者数	139	単位あたりコスト	11.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山市連合婦人会　京都ユニオンサービス株式会社					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	20	燃料費			
委託料	65	福祉バス運行業務			
負担金補助及び交付金	295	母の日大会事業負担金、ブロック別研修事業負担金、 生涯学習講座(福知山市連合婦人会)			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		361	382	378	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			361	382	378	
予算財源内訳	① 一般財源		361	382	378	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		△ 4	0		
	② 配当予算		357	382		
	③ 執行額		355	380		
	④ 執行率		99.4%	99.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.04 / 0.30	0.04 / 0.30	/	/
	② 概算人件費		1,160	1,160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,515	1,540		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	447	436	445	419		
	市民参加者数 （母の日大会、生涯学習講座、活動交流フォーラム等）	目標値		300	300	300	300	300	
		達成度	%	149%	145%	148%	140%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	8	9	9	9		
	婦人会の研修等活動回数	当初見込		8	8	8	8	8	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	婦人会事業へ負担金の交付								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 〇女性団体として市の各種事業に積極的に携わり、活動を推進する力となっている。 〇人権問題や地球温暖化対策、防災研修等の今日的課題解決に向けた研修は、女性の資質及び地位向上に役立つものになっている。 〇各事業への参加と内容の報告が確実に行われており、学んだことの交流と共有ができている。 〇参加者の高齢化による参加者の減少。
現状の課題に対する改善策	〇他団体との交流を積極的に進め、女性団体ならではの意見を発信したり、これまで蓄積されてきた学びや実践の成果を発信することで、男女共同参画社会の実現をめざす。